

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 9月えんだより

9月聖句：「主において常に喜びなさい。」

<フィリピの信徒への手紙4章4節>

9月とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。今夏の猛暑で、外に出る機会が皆さんも少なかったのではないのでしょうか？変化している自然に合わせて、遊びや生活も変えていくことの必要性を改めて感じた夏でした。さて、今月の主題は「喜んで生きる」というテーマです。私達の誰もが喜んで生きたいと思います。それができたらどんなにいいだろうと感じますが、今夏のような自然災害や気候変動だけではなく、喜びよりも寧ろストレスを感じ、喜べない現実もあることも経験しています。「主において常に喜びなさい。」とあります。「そうは言われても」と、「はい分かりました。喜びます。」というわけにはいきません。

人間が喜びを感じる時を幾つかあげてみますと、第一は食欲や睡眠欲といった生理的な欲求の充足です。満腹になって喜びを感じ、心身の健康を感じる等、人間の本能に属する基本的な喜びです。第二は、努力して困難な目標を達成した時に得られる達成感や充実感という喜びです。そして、第三は愛する者との触れ合いにおいて得られる喜びです。無条件に愛され、受け入れられて、守られる関係で、「心の安全基地」を得る喜びともいえます。神様が促しているのは、この安らぎに満ちた喜びのことです。

自分のどんな苦しみや悲しみも、又喜びも信頼して打ち明けることができ、自分自身を肯定することができる時、これは精神的な自由が与えられた時とも言えます。心が解放されて、自由に、自分が生きることを喜び、積極的に与えられた人生を生きることができると、他者のことも肯定して受け容れることができるようになります。自由というのは自分の好き勝手ではなく、自分らしくと言うか、在りのままの自分を愛し、愛され、在りのままの人を認めあいながら生きることを大切にする。このことが勧められているのです。

他者に愛を求めるのではなく、自分が人を愛していく者となることにより、人に愛される機会が得られます。「喜んで生きる」ことは言葉通りでも、聖句の意味においても、難しい業ですが、全ての思いや願いの一切を、神様に打ち明け、共に生きるところに、神様の平和が与えられ、私たちが喜んで生きる者として招いて下さることを信じて、喜び生きるのです。一日一日のかけがえのない日々と時間を子ども達と園の皆さんと共に喜び合い生きることを心にとめていきたいと願います。

9月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	あそぼう・おもしろそう	のびのびと・深める
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・聖書のお話に触れ、親しむ ・興味が広がり、のびのびと体を動かす ・保育者との関係が深まり、自分の思いを安心して出しながら遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い夏を守られたことを神様に感謝する。 ・遊びや活動を通し、友だちと互いの思いを聞きあいながらイメージを共有する。 ・夏から秋の自然を感じながら、心を開放し、気持ちよく体を動かす。